

# 愛知県外科医会会報

令和元年10月31日発行

第116号

## 卷頭言

愛知県外科医会 会長 佐藤和郎



辛いところです。そこで祝日や休みの取り方について考えてみたいと思います。

かつて高度経済の時代に日本人は働きバチ、ワーカホリックなどと欧米より批判されました。それに伴ない祝日の数が次第に増えたと思います。海の日、山の日…そのうち川の日(?)空の日(?)も…

その後祝日が日曜日の場合、その翌日の月曜日を休日とする振替休日が制定されました。その後成人の日は1月の第2月曜日(制定時は1月15日)に、海の日は7月の第3月曜日(同7月20日)に、敬老の日は9月の第3月曜日(同9月15日)に、体育の日は10月の第2月曜日(同10月10日)に変更されました。さすがに春分の日、秋分の日は勝手に変更できません。月曜日ばかり休みが多くなるのは問題です。今年は月曜日の祝休日が年間10日もあります。継続的、計画的な外来診療がやりにくくなります。名古屋市立大学病院は5月6日(振替休日、月)、9月23日(秋分の日、月)は通常通りの診療を行ったときいています。もつ

とも職員からは歓迎されていないかも知れません。更に2つの祝日に挟まれた平日を休日とする国民の休日が制定されています。また東京オリンピックの開催される2020年に限っては海の日が7月23日に、体育の日が7月24日に変更されスポーツの日となり、山の日が8月10日に変更されています。もともと体育の日は1964年の東京オリンピック開会式を記念して制定されたのですが、あまりな変更はその記念日としての意味をなくしてしまいます。

さて諸外国の事情はどうでしょう。バカンス大国で知られるフランスの祝祭日は年間9日、米国が10日、欧州諸外国は7~9日が多い様です。アジア諸国では日本に次いで香港が13日、シンガポール11日の順です。日本は実に年間17日を数え、世界で一番多い日数となっています。一方、有給休暇はどうでしょうか。フランスでは有休付与数、消化数とも30日で100%消化している様です。日本は付与数20日、消化数10日で取得50%との事です。

日本人は年末年始、ゴールデンウィークやお盆に多くの人が一斉に休む習慣があるため、他の時期に更に休みを取りにくく事情があるとは思います。働き過ぎの日本人を休ませるためこれまで祝日を増やしてきたところですが、却って有給休暇が取りにくくなってしまいでしょうか。いっぽう祝日休日を半分くらいに減らすと有給休暇が取り易くなるのでは…と妄想にふけっているところです。

※祝祭日の国際比較に関して経済ジャーナリスト宮田健氏の論考 PRESIDENT 2017年5月15日号を参考にしました。

## [ 目次 ]

●卷頭言	1
●平成31年度 第1回 評議員会	2
●平成31年度 第62回 定時総会	2
●会務報告	3
●会員異動について	6
●平成30年度 収支計算書	7
●平成30年度 監査報告書	8
●平成31年度 事業計画	9
●平成31年度 収支予算書	10
●平成31年度 救急医療生涯教育研修会	11
●平成31年度 日本医師会生涯教育講座(外科)	12
●平成31年度 救急医療医師研修会	13
●令和元年度 愛知県救急医療推進大会	14
●令和元年度 救急医療施設見学会報告	15
●ホームページ	15
●編集後記	15
●愛知県外科医会役員名簿	16

編集・発行

愛知県医師会館内  
愛知県外科医会

〒460-0008  
名古屋市中区栄四丁目14-28  
TEL: 052-263-0093  
FAX: 052-263-6775  
E-mail: geka@med.email.ne.jp

平成 31 年度  
第 1 回 評議員会

日 時：令和元年 6 月 20 日(木) 午後 2 時～  
場 所：昭和ビル 9 階ホール

令和元年 6 月 20 日(木) 午後 2 時から昭和ビル 9 階ホールにおいて第 1 回評議員会が開催されました。評議員総数 43 名のうち 33 名(内委任状提出者 26 名)が出席しました。

錦見議長(以下「議長」という。)が議長席に着き、開会を宣言し挨拶後、下記のとおり議事が進行されました。

議案の承認について意見を求めたところ、特に動議がないため一議案ごとに承認を得ることで出席者の承認を得ました。

**第 1 号議案 「平成 30 年度会務の報告」**

議長は、執行部の山内昌司副会長を指名し、山内副会長より総会資料に基づき、会務の報告が行われました。

途中、昨年度ご逝去されました石黒久雄先生に対する黙祷の提案があり、議長の発声により哀悼の意を込めて黙祷を捧げました。

議長は、報告についての質疑等を求めましたが特に意見がないため、採決を取ったところ出席者全員の承認を得ました。

**第 2 号議案 「平成 30 年度収支決算書に関し承認を求める件」**

議長は、執行部の伊佐治文朗副会長を指名し、伊佐治副会長より総会資料に基づき、平成 30 年度収支決算書について報告が行われました。

監事を代表して早川直和監事から監査報告が行われました。

議長は、収支決算に係る質疑等を求めたところ浅野顧問より、決算書の字句についてのお話があり今後検討することとしました。

議長は、第 2 号議案について採決を取ったところ、出席者全員の承認を得ました。

**第 3 号議案 「平成 31 年度事業計画に係る報告」**

議長は、執行部の細野二郎副会長を指名し、細野副会長より総会資料に基づき、平成 30 年度事業計画の内容について説明が行われました。

議長は、第 3 号議案について採決を取ったところ、出席者全員の承認を得ました。

**第 4 号議案 「平成 31 年度収支予算書(案)に係る報告」**

議長は、執行部の伊佐治文朗副会長を指名し、伊佐治副会長より総会資料に基づき、平成 31 年度収支予算書(案)の説明が行われました。

議長は、第 4 号議案について採決を取ったところ、出席者全員の承認を得ました。

以上をもって全ての議案について評議員会において承認をされたことについて、議長から議事進行の謝意を述べられ、佐藤和郎会長の挨拶とともに閉会が宣言されました。

平成 31 年度  
第 62 回 定時総会

日 時：令和元年 6 月 20 日(木) 午後 2 時 30 分～  
場 所：昭和ビル 9 階ホール

第 1 回評議員会に引き続き、午後 2 時 30 分から第 62 回定時総会が開催されました。

出席者 206 名(うち委任状提出者数 177 名)。佐藤和郎会長が議長となり、挨拶後、下記のとおり議事が進行されました。

本議案は、評議員会で承認を受けていることを報告し、一括で承認を得ることで出席者の承認を得ました。

**第 1 号議案 「平成 30 年度会務の報告」**

議長は、執行部の山内昌司副会長を指名し、山内副会長より総会資料に基づき、会務報告が行われました。特に質疑はありませんでしたが、今後の外科医会の会員の加入促進について山内副会長が提起されました。錦見先生より、同門単位で平成以降に医師となった方に加入のリクルートをしたらどうかを会長に提起していることを説明されました。

途中、昨年度ご逝去されました石黒久雄先生に対して黙祷の提案があり、議長発声により哀悼の意をこめて黙祷が捧げられました。

**第 2 号議案 「平成 30 年度収支決算書に関し承認を求める件」**

議長は、執行部の伊佐治文朗副会長を指名し、伊佐治副会長より総会資料に基づき、平成 30 年度収支決算書について報告が行われました。

監事を代表して早川直和監事から監査報告が行われました。

**第 3 号議案 「平成 31 年度事業計画に係る報告」**

議長は、執行部の細野二郎副会長を指名し、細野副会長より総会資料に基づき、平成 30 年度事業計画の説明が行われました。

**第 4 号議案 「平成 31 年度収支予算書(案)に係る報告」**

議長は、執行部の伊佐治文朗副会長を指名し、伊佐治副会長より総会資料に基づき、平成 31 年度収支予算書(案)の説明が行われました。

彦坂理事より、臨床外科学会への助成について質問がありました。

上記議案について、第 2 号議案から第 4 号議案について総会の承認事案となっていることから採決を取ったところ、出席者全員の挙手により承認が得られました。

以上をもって本総会の議事を全て終了し、議長は議事進行の謝意を述べ、挨拶後に降壇され、第 62 回定時総会は閉会しました。

# 会務報告

## (庶務・事業報告)

平成 30 年度の会務について、下記のとおり報告します。

### I 庶務に関する事項

#### 1. 会員数について(平成 31 年 3 月 31 日現在)

会員数 370 名(入会:1 退会:43)

(会員内訳)

地 区	平成30年度 会員数	地 区	平成30年度 会員数
名古屋市	16	尾 張	西名古屋 (北名古屋市、清須市、西春日井郡)
千種区	4		尾北 (大治市、江南市、丹羽郡)
東区	12		稻沢市
北区	10		海部 (愛西市、あま市、海部郡)
西区	12		知多郡 (大府市、知多市、常滑市、知多郡)
中村区	7		小 計 129
中区	6		
昭和区	6		
瑞穂区	6		
熱田区	5		
中川区	21		
港区	8		
南区	8		
守山区	4		
緑区	7		
名東区	6		
天白区	7		
	小 計 139		
尾張		三 河	
一宮市	17		豊橋市
瀬戸旭(瀬戸市、尾張旭市)	9		豊川市
半田市	3		蒲郡市
春日井市	19		田原市
津島市	5		北設楽郡
小牧市	7		新城市
東海市	4		豊崎市 (豊崎市、額田郡)
岩倉市	2		碧南市
東名古屋 (豊明市、日進市、長久手市、愛知 郡)	11		刈谷市 (刈谷市、知立市、高浜市)
			豊田加茂 (豊田市、みよし市)
			安城市
			西尾市
			小 計 102
			総 計 370

#### 2. 会務に関する主なる会議

##### (1) 総 会

日 時 平成 30 年 6 月 14 日(木)

場 所 名古屋市中区栄四丁目 14 番 28 号  
愛知県医師会館 8 階会議室

- 議 事
- ① 平成 29 年度会務の報告
  - ② 平成 29 年度収支計算書に關し承認を求める件(監査報告)
  - ③ 平成 30 年度事業計画(案)に關し承認を求める件
  - ④ 平成 30 年度収支予算書(案)に關し承認を求める件

##### (2) 評議員会

###### 第 1 回評議員会

日 時 平成 30 年 4 月 19 日(水)

場 所 名古屋市中区栄四丁目 14 番 28 号  
中日パレス コスモス(中日ビル 5 階)

- 議 事
- ① 新役員選出に關する事項

###### 第 2 回評議員会

日 時 平成 30 年 6 月 14 日(木)

場 所 名古屋市中区栄四丁目 14 番 28 号  
愛知県医師会館 8 階会議室

- 議 事
- ① 収支の予算及び決算に關する事項(会計監査報告)

- ② 平成 30 年度事業計画に關する事項
- ③ その他

##### (3) 理事会

###### 第 1 回(4 月 5 日)

- ① 医療安全対策委員会の報告について
- ② 生涯教育・救急合同委員会の報告について
- ③ 第 1 回評議員会・理事会の開催について
- ④ 第 61 回定時総会までの日程について
- ⑤ 定時総会までの日程について

###### 臨 時(4 月 19 日)

- ① 新役員の業務分担に關する事項
- ② 庶務及び会計報告(案)
- ③ 平成 29 年度事業報告(案)
- ④ 平成 29 年度決算及び平成 30 年度予算(案)
- ⑤ 平成 30 年度事業計画(案)

###### 第 2 回(5 月 10 日)

- ① 第 61 回定時総会の資料等について
- ② 第 61 回定時総会までの日程について
- ③ 新役員分担について
- ④ その他

###### 第 3 回(7 月 5 日)

- ① 医療安全対策委員会の報告について
- ② 第 2 回評議員会・第 61 回定時総会の報告について
- ③ 第 50 回愛知臨床外科学会学術集会の開催について
- ④ 救急医療生涯教育研修会の開催について
- ⑤ 救急医療施設見学会について
- ⑥ 生涯教育研修会について
- ⑦ 愛知県救急医療推進大会について
- ⑧ 第 1 回救急医療医師研修会について
- ⑨ 平成 29 年度旅費及び日当の振込払いについて
- ⑩ 職員の採用について

###### 第 4 回(9 月 6 日)

- ① 医療安全対策委員会の報告について
- ② 第 50 回愛知臨床外科学会学術集会の報告について
- ③ 救急医療生涯教育研修会の報告について
- ④ 救急医療施設見学会の中止について
- ⑤ 生涯教育研修会の報告について

- ⑥ 愛知県救急医療推進大会の開催について
  - ⑦ 第1回救急医療医師研修会の開催について
  - ⑧ 第2回救急医療医師研修会の開催について
  - ⑨ 外科医会ホームページの立ち上げについて
- 第5回（10月4日）
- ① 医療安全対策委員会の報告について
  - ② 愛知県救急医療推進大会の報告について
  - ③ 第1回救急医療医師研修会の報告について
  - ④ 第2回救急医療医師研修会の開催について
  - ⑤ 第51回愛知臨床外科学会学術集会の開催について
  - ⑥ 救急医療特別研修会の開催について
- 第6回（11月1日）
- ① 医療安全対策委員会の報告について
  - ② 第2回救急医療医師研修会の開催について
  - ③ 第2回損害保険医療協議会専門委員会の開催について
  - ④ 新年懇親会の開催について
  - ⑤ 愛知県外科・整形外科合同研究会の開催について
  - ⑥ 生涯教育・救急合同委員会の開催について
  - ⑦ 第51回愛知臨床外科学会学術集会の開催について
  - ⑧ 救急医療特別研修会の開催について
  - ⑨ 産業医研修会の開催について
- 第7回（12月6日）
- ① 医療安全対策委員会の報告について
  - ② 第2回救急医療医師研修会の報告について
  - ③ 第2回損害保険医療協議会専門委員会の開催について
  - ④ 新年懇親会の開催について
  - ⑤ 愛知県外科・整形外科合同研究会の開催について
  - ⑥ 生涯教育・救急合同委員会の開催について
  - ⑦ 第51回愛知臨床外科学会学術集会の開催について
  - ⑧ 救急医療特別研修会の開催について
  - ⑨ 産業医研修会の開催について
- 第8回（1月10日）
- ① 医療安全対策委員会の報告について
  - ② 第2回損害保険医療協議会専門委員会の開催について
  - ③ 新年懇親会の開催について
  - ④ 愛知県外科・整形外科合同研究会の開催について
  - ⑤ 第51回愛知臨床外科学会学術集会の開催について
  - ⑥ 生涯教育・救急合同委員会の開催について
  - ⑦ 救急医療特別研修会の開催について
  - ⑧ 産業医研修会の開催について
  - ⑨ 労災保険診療協議会委員の更新について
- 第9回（2月7日）
- ① 医療安全対策委員会の報告について
  - ② 愛知県整形外科・外科保険審査員連絡会の報告について
  - ③ 生涯教育・救急合同委員会の開催について
  - ④ 名古屋市医師会急病センターの外科第一次急病診療について
  - ⑤ 第51回愛知臨床外科学会学術集会の開催について
  - ⑥ 第3回損害保険医療協議会専門委員会及び総会の開催について
  - ⑦ 救急医療特別研修会の開催について
  - ⑧ 産業医研修会の開催について
  - ⑨ 救急蘇生法地区別研修会助成金交付申請について
- 第10回（3月7日）
- ① 医療安全対策委員会の報告について
  - ② 第51回愛知臨床外科学会学術集会の報告について
  - ③ 第3回損害保険医療協議会専門委員会の報告について
  - ④ 救急医療特別研修会の開催について
  - ⑤ 名古屋市医師会急病センターの外科第一次急病診療の開始について
  - ⑥ 産業医研修会の開催について
  - ⑦ 救急蘇生法地区別研修会助成金交付申請について
- (4) その他の会議
- ア 生涯教育・救急合同委員会  
平成31年1月24日(木)
- ① 平成30年度実施結果について
  - ② 平成31年度実施計画について
- イ 愛知県整形外科・外科合同研究会  
日 時：平成31年1月19日(土)午後5時～

- 場 所：名鉄グランドホテル「桂の間」  
 ヴ 広報委員会  
 第1回 平成30年10月4日  
 ① 会報第114号発行時期について  
 ② 掲載内容について  
 第2回 平成31年4月4日  
 ① 会報第115号発行時期について  
 ② 掲載内容について

## II 事業に関する事項

### 1. 救急医療生涯教育研修会

参加者数：41名  
 共 催：大日本住友製薬  
 平成30年7月19日(木)  
 愛知県医師会館地下健康教育講堂  
 講 師：愛知医科大学放射線医学講座  
 特任教授 森 美雅 先生  
 演 題：「最近の高精度放射線治療について」

### 2. 救急医療医師研修会(第1回)

参加者数：30名  
 平成30年9月13日(木)  
 中日パレス クリスタル  
 講 師：名古屋大学医学部形成外科  
 教授 亀井 讓 先生  
 演 題：「チーム医療における形成外科の役割」

### 救急医療医師研修会(第2回)

参加者数：27名  
 平成30年11月15日(木)  
 愛知県医師会館地下健康教育講堂  
 講 師：名古屋セントラル病院脳神経外科  
 主任医長 竹林 成典 先生  
 演 題：「痙攣治療」  
 ～なぜ治療するのか、どう治療するのか～

### 3. 救急医療特別研修会

参加者数：188名  
 共 催：武田薬品工業  
 平成31年2月16日(土)  
 名古屋キャッスルプラザ  
 講 師：愛知医科大学病院睡眠科部長  
 (睡眠医療センター部長教授) 塩見 俊明 先生  
 演 題：「不眠と不安の患者に対応する～睡眠障害オーバービュー～」  
 \*本研修はベンゾジアゼピン受容体作動薬の継続投与に対する「不安または不眠にかかる適切な研修」にあたります。

### 4. 救急医療地区別研修会

1支部 延べ 1回

### 5. 救急蘇生法地区別講習会

2支部 延べ 2回

### 6. 救急医療施設見学会

※台風の影響により中止  
 平成30年7月28日(土)

名古屋市千種区不老町 名古屋大学減災館

7. 救急週間行事  
 愛知県救急医療推進大会  
 平成30年9月7日(金)  
 場 所：愛知県医師会館 9階・8階・7階  
 表彰者(外科医会会員)の報告  
 【救急医療功労者個人表彰】  
 天白区(医)いさじ医院 伊佐治 文朗 先生  
 講演会  
 ア 演題 「救急・災害医療提供体制等の在り方に関する検討会  
 (厚生労働省)と愛知県における取り組み状況について」  
 講師 愛知県救急医療情報センター顧問  
 愛知医科大学名誉教授 野口 宏 先生  
 イ 演題 「ラグビーW杯に向けた集団災害医療」  
 講師 杏林大学医学部救急医学教室  
 主任教授 山口 芳裕 先生  
 救急蘇生法講習(8階会議室)  
 一 心肺蘇生とAEDの使い方  
 講師 愛知県医師会救急委員会委員  
 担当 日本救急蘇生普及協会指導員  
 名古屋市応急手当研修センター指導員  
 応急手当講習(7階研修室)  
 担当 日本救急蘇生普及協会指導員  
 8. 生涯教育研修会  
 平成30年8月16日(木)  
 場 所：愛知県医師会館地下健康教育講堂  
 総合司会：愛知県外科医会生涯教育委員会  
 委員長 錦見 尚道 先生  
 講 師：国立病院機構東名古屋病院  
 放射線科診療部長・乳腺外科医長 遠藤 登喜子 先生  
 演 題：「乳がんの画像診断における最近の情報」  
 講 師：名古屋第一赤十字病院  
 乳房センター長 岩瀬 拓士 先生  
 演 題：「乳癌外科治療の現状と将来」  
 9. 愛知臨床外科学会学術集会  
 第50回 平成30年7月16日(月)  
 場 所：愛知県医師会館 9階大講堂、8階会議室、地下健康教育講堂  
 会 長：豊川市民病院 院長 西田 勉 先生  
 第51回 平成31年2月11日(月)  
 場 所：愛知県医師会館 9階大講堂、8階会議室、地下健康教育講堂  
 会 長：名古屋第一赤十字病院 副院長 錦見 尚道 先生  
 10. 会報発行  
 第114号 平成30年10月31日発行  
 第115号 平成31年4月25日発行  
 11. ホームページの開設  
 平成30年8月より愛知県外科医会のホームページを開設。

会員異動について

## 平成30年度に入会された会員

【1件】

入会年月日	入会会員名	医療機関名称	地区
平成30年5月25日	原田 明生	医療法人聖真会 横山記念病院	中 区

## 平成30年度に退会された会員

【43件】

退会年月日	退会会員名	医療機関名称	地区
平成30年4月1日	石塚 弘和	石塚外科整形外科病院	愛 西 市
平成30年5月14日	粕谷 守正	粕谷クリニック	瑞 穂 区
平成30年5月21日	加藤 雅之	医療法人昌峰会 加藤病院	千 種 区
平成30年5月21日	松尾 富之	松尾医院	尾 張 旭 市
平成30年5月21日	末澤 實	末沢医院	北 名 古 屋 市
平成30年5月21日	三木 敏彦	医療法人葉倫会 みきクリニック	海 部 郡
平成30年5月21日	都築 尚生	つづきクリニック	刈 谷 市
平成30年5月21日	桂川 兼行	医療法人吉浜クリニック	高 浜 市
平成30年5月22日	加藤 忠雄	医療法人藤成会 加藤医院	北 区
平成30年5月22日	水谷 正信	水谷外科	北 区
平成30年5月22日	大萱 誠司	医療法人大仁会 高木病院	瑞 穂 区
平成30年5月22日	板津 慶幸	南医療生活協同組合総合病院南生協病院	緑 区
平成30年5月22日	伊藤 乙彦	伊藤外科	岩 倉 市
平成30年5月22日	中西 浩	Nクリニック	豊 橋 市
平成30年5月23日	内田 修		長 久 手 市
平成30年5月23日	野崎 永喜	医療法人大朋会 岡崎共立病院	岡 崎 市
平成30年5月23日	梶田 正文	碧南市民病院	碧 南 市
平成30年5月24日	中西 英和	中西クリニック	一 宮 市
平成30年5月24日	宮田 昌彦	医療法人宮田医院	犬 山 市
平成30年5月25日	加藤 迪彦	医療法人香徳会 スカイル皮膚科・カトウ	中 区
平成30年5月25日	山口 民夫	山口クリニック	緑 区
平成30年5月25日	竹下 洋基	医療法人十喜会 加藤病院	碧 南 市
平成30年5月27日	大岩 一太	医療法人聖俊会 豊川老人保健施設ケアリゾートオリーブ	豊 橋 市
平成30年5月29日	石井 大	いしい外科三好クリニック	み よ し 市
平成30年5月30日	柘植 一成	医療法人つげ整形外科	南 区
平成30年8月21日	丸山 暢	医療法人ほうらいクリニック	新 城 市
平成30年8月22日	伊藤得志男	アガペクリニック	日 進 市
平成30年8月22日	石原 博	石原外科	犬 山 市
平成30年8月22日	深見 武志	深見胃腸科	西 尾 市
平成30年8月23日	鳥居 敬	みなと医療生活協同組合クリニックレインボー	熱 田 区
平成30年8月23日	宮田 金泰	宮田胃腸科外科	天 白 区
平成30年10月15日	岩月 義昭	医療法人愛望会 岩月外科内科クリニック	高 浜 市
平成30年10月17日	志津 有一	医療法人大曾根外科	北 区
平成30年10月17日	田代 正治	医療法人恵洲会 田代クリニック	春 日 井 市
平成30年12月18日	浅井 俊人	医療法人ディスニック浅井外科	知 多 郡
平成30年12月31日	高橋 英城	医療法人高橋病院	昭 和 区
平成31年1月28日	石黒 久雄	いしごろ内科	一 宮 市
平成31年3月31日	今泉 強	医療法人寿泉会 今泉病院	新 城 市
平成31年3月31日	雄谷義太郎	医療法人社団志聖会 犬山中央病院 健康管理センター	犬 山 市
平成31年3月31日	竹内 善則	-	瑞 穂 区
平成31年3月31日	小澤 正敏	社会医療法人愛生会 総合上飯田第一病院	北 区

平成 30 年度 収 支 計 算 書

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

## I 収入の部

[単位：円]

科目	予算額	収入済額	増 減	備 考
1. 会費収入	3,392,000	2,872,000	-520,000	8,000円×359名
2. 入会金収入	15,000	3,000	-12,000	3,000円×1名
3. 助成金収入	922,000	922,000	0	平成30年度救急医療助成金
4. 雑収入	772,000	40,043	-731,957	
受取利息	1,000	43	-957	資金運用利息
その他収入	40,000	40,000	0	名古屋市医師会助成
役員退職積立	0	0	0	
前年度未納入者	731,000	0	-731,000	年会費8,000円×91名、入会金3,000円×1名
当期収入合計 (A)	5,101,000	3,837,043	-1,263,957	
前期繰越額	3,832,880	3,832,880		
収入合計 (B)	8,933,880	7,669,923	-1,263,957	

## II 支出の部

科目	予算額	支出済額	増 減	備 考
1. 事業費	1,842,000	1,555,059	-286,941	
調査委員会費	20,000	0	-20,000	委員会経費/委員会出席旅費
救急対策費	922,000	787,933	-134,067	地区別研修会、蘇生法講習会助成等
臨床外科学会援助費	400,000	300,000	-100,000	第49回日本臨床、第50回愛知臨床外科学会助成
その他事業費	500,000	467,126	-32,874	研修会資料印刷・送料
2. 事務費	2,710,000	2,742,894	32,894	
通信費	60,000	278,952	218,952	郵便料金 会費再請求等
需用費	50,000	481,032	431,032	事務消耗品、封筒印刷、コピー代
旅 費	20,000	0	-20,000	役員出張旅費 会計検印
事務協力費	700,000	700,000	0	事務協力費 労災指定医協会へ
事務所費	300,000	300,000	0	事務所使用料等 労災指定医協会へ
雜給雑費	80,000	18,836	-61,164	電報、供花等
会議費	1,500,000	964,074	-535,926	総会・理事会等の会議経費 役員・評議員出席旅費
3. 固定資産取得支出	0	0	0	
4. 役員退職金支出	500,000	800,000	300,000	
役員退職金支出	500,000	800,000	300,000	
5. 予備費	300,000	432,000	132,000	ホームページ作成費用等
当期支出合計 (C)	5,352,000	5,529,953	177,953	
当期収支差額 (A) - (C)	-251,000	-1,692,910		
次期繰越収額 (B) - (C) = (D)	3,581,880	2,139,970	-1,441,910	

## 平成 30 年度 監査報告書

## 1. 監査の範囲

平成 30 年度における業務執行、財産の状況、収支決算に関する会計処理について監査を実施した。

## 2. 監査の実施日及び日数 平成 31 年 4 月 25 日（1 日）

## 3. 監査人

監 事	早 川 直 和
監 事	渡 邊 浩 次
監 事	牧 原 良 行

## 4. 監査立会人

事 務 局 長	大 沼 洋 文
事 務 局 職 員	沖 田 愛

## 5. 監査事項

## 業務監査及び会計監査

- (1) 重要な理事会に出席のほか、事務局長等から業務内容の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、必要に応じて説明を受けた。
- (2) 業務及び財産の状況を調査し、必要に応じて説明を受けた。
- (3) 会計監査については、現金・金融機関に関する諸帳簿及び計算書類、附属明細書等の会計処理について特に詳細に調査した。

以上、会則第 11 条第 4 項に基づいた監査の結果、平成 30 年度の業務執行・財産の状況について不正の行為、又は法令若しくは会則に違反する事実は認められませんでした。

また、諸帳簿等も正確に記載・処理されており、収支計算書も正確かつ適正であることを認めましたので報告いたします。

平成 31 年 4 月 25 日

監 事	早 川 直 和	印
監 事	渡 邊 浩 次	印
監 事	牧 原 良 行	印

愛知県外科医会

会 長 佐 藤 和 郎 殿

# 平成 31 年度 事業計画

## 1. 救急医療対策事業

### (1) 救急医療研修会

#### ○救急医療生涯教育研修会

##### ・救急医療生涯教育研修会

参加者数：26名

日 時：令和元年 7 月 18 日（木）14：00～

場 所：愛知県医師会館地下健康教育講堂

講 師：弁護士法人後藤・太田・立岡法律事務所 中村 勝己 先生

演 題：「救急医療における紛争予防～法律家の立場から～」

～医療制度と法律～

～医師－患者関係とコミュニケーション～

座 長：伊佐治 文朗 先生

#### ○救急医療医師研修会

##### ・救急医療医師研修会（第1回）

参加者数：41名

日 時：令和元年 9 月 12 日（木）14：00～

場 所：愛知県医師会館地下健康教育講堂

講 師：医療法人山下病院

理事長 服部 昌司 先生

演 題：「大腸 CT 検査 苦痛の少ない新たな大腸検査法」

～大腸癌、便潜血陽性患者のスクリーニング～

～低用量下剤を用いた低侵襲検査～

座 長：細野 二郎 先生

##### ・救急医療医師研修会（第2回）

日 時：令和元年 11 月 14 日（木）14：00～

場 所：愛知県医師会館地下健康教育講堂

講 師：びわじま整形外科

院長 井戸田 仁 先生

愛知県スポーツドクター連絡協議会会長

演 題：「成長期スポーツ障害・外傷」

～その予防と処置～

座 長：細野 二郎 先生

#### ○救急医療特別研修会

##### ・救急医療特別研修会 — 外科

日 時：令和 2 年 2 月 15 日（土）18：00～

共 催：武田薬品工業

場 所：TKP ガーデンシティ PREMIUM

名駅西口 2 階

講 師：名古屋市立大学大学院医学研究科

#### 消化器・代謝内科学

准教授 田中 智洋 先生

演 題：「高血圧関連 (JSH2019 改訂を踏まえて)」

講 師：トヨタ記念病院 消化器外科

医長 山川 雄士 先生

演 題：「未定」

座 長：伊佐治 文朗 先生

#### ○救急医療地区別研修会

### (2) 救急蘇生法地区別講習会

### (3) 救急医療施設見学会 ※台風のため中止

施設名：藤田医科大学病院救命救急センター・ダビンチトレーニングセンター

日 時：令和元年 7 月 27 日（土）15：00～

場 所：豊明市沓掛町 藤田医科大学病院

担 当：細野 二郎 先生

### (4) 救急週間行事

#### 愛知県救急医療推進大会

日 時：令和元年 9 月 9 日（月）

午後 2 時～午後 4 時 30 分

場 所：愛知県医師会館大講堂他

① 表彰者（外科医会会員）の報告

医療法人一色診療所 坂野 哲哉 理事長

② 講演会

ア 演題 「救急・災害医療提供体制に係る最近の動向」

講師 愛知県救急医療情報センター顧問

愛知医科大学名誉教授

野口 宏 先生

イ 演題 「ガイドラインに基づいたアナフィラキシーへの対応」

講師 あいち小児保険医療総合センター

副センター長兼総合診療科部長

伊藤 浩明 先生

③ 救急蘇生法講習（8 階会議室）

— 心肺蘇生と A E D の使い方

講師 愛知県医師会救急委員会委員

担当 日本救急蘇生普及協会指導員

名古屋市応急手当研修センター指導員

④ 応急手当講習（7 階研修室）

担当 日本救急蘇生普及協会指導員

### (5) 災害対策

### 2. 生涯教育研修会（県医師会共催）

#### 生涯教育研修会

参加者数：47 名

日 時：令和元年 8月 22日(木) 14:00～  
 場 所：愛知県医師会館地下健康教育講堂  
 総合司会：愛知県外科医会生涯教育委員会  
 委員長 錦見 尚道 先生  
 講 師：名古屋大学大学院医学系研究科  
 病態内科学講座(消化器内科分野)  
 教授 藤城 光弘 先生  
 演 題：「胃がんの内視鏡診療」  
 座 長：山内 晶司 先生  
 講 師：藤田医科大学病院総合消化器外科  
 教授 宇山 一朗 先生  
 演 題：「上部消化管 悪性疾患に対する低侵襲  
 手術の最前線」  
 座 長：細野 二郎 先生  
 3. 医療安全対策

4. 社会保険医療の研究  
 5. 愛知臨床外科学会学術集会  
 第52回愛知臨床外科学会学術集会  
 日 時：令和元年 7月 15日(月) 9:00～  
 場 所：愛知県医師会館 9階大講堂、8階会  
 議室、地下健康教育講堂  
 当番会長：常滑市民病院 院長 深田 伸二 先生  
 第53回愛知臨床外科学会学術集会  
 日 時：令和2年 2月 11日(月) 9:00～  
 場 所：愛知県医師会館 9階大講堂、8階会  
 議室  
 当番会長：公立西知多総合病院  
 院長 浅野 昌彦 先生  
 6. 会報発行  
 年2回発行する。

## 平成31年度 収支予算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

I 収入の部				
科目	前年度収入額	予算額	増 減	[単位：円]
1. 会費収入	2,872,000	2,968,000	96,000	8,000円×370名+新規1
2. 入会金収入	3,000	3,000	0	3,000円×1名
3. 助成金収入	922,000	922,000	0	平成31年度救急医療助成金
4. 雑収入	40,043	200,100	160,057	
受取利息	43	100	57	資金運用利息
その他収入	40,000	40,000	0	名古屋市医師会助成
役員退職積立	0	0	0	
前年度未納入者	0	160,000	160,000	年会費8,000円×20名
当期収入合計 (A)	3,837,043	4,093,100	256,057	
前期繰越額	3,832,880	2,139,970		
収入合計 (B)	7,669,923	6,233,070	-1,436,853	

II 支出の部				
科目	前年度支出額	予算額	増 減	備 考
1. 事業費	1,555,059	2,042,000	486,941	
調査委員会費	0	20,000	20,000	委員会経費/委員会出席旅費
救急対策費	787,933	922,000	134,067	地区別研修会、蘇生法講習会助成等
臨床外科学会援助費	300,000	600,000	300,000	第51回未払分、第52回、第53回愛知臨床外科学会助成
その他事業費	467,126	500,000	32,874	研修会資料印刷・送料
2. 事務費	2,742,894	2,630,000	-112,894	
通信費	278,952	280,000	1,048	郵便料金 会費再請求等
需用費	481,032	300,000	-181,032	事務消耗品、封筒印刷、コピー代
旅 費	0	20,000	20,000	役員出張旅費 会計検印
事務協力費	700,000	700,000	0	事務協力費 労災指定医協会へ
事務所費	300,000	300,000	0	事務所使用料等 労災指定医協会へ
雑給雑費	18,836	30,000	11,164	電報、供花等
会議費	964,074	1,000,000	35,926	総会・理事会等の会議経費 役員・評議員出席旅費
3. 固定資産取得支出	0	0	0	
4. 役員退職金支出	800,000	0	-800,000	
役員退職金支出	800,000	0	-800,000	
5. 予備費	432,000	0	-432,000	
当期支出合計 (C)	5,529,953	4,672,000	-857,953	
当期収支差額 (A) - (C)	-1,692,910	-578,900		
次期繰越額 (B) - (C) = (D)	2,139,970	1,561,070	-578,900	

平成 31 年度  
救急医療生涯教育研修会

日 時：令和元年 7 月 18 日(木)  
場 所：愛知県医師会館 5 階会議室

「救急医療における紛争予防  
～法律家の立場から～」

弁護士法人後藤・太田・立岡法律事務所  
弁護士 中村 勝己 先生

「医療制度と法律について」

医療過誤によって、死亡、身体障害という結果が発生した場合、民事(損害賠償責任)、刑事(懲役・禁固、罰金)、行政(免許取消、医業停止、戒告)の各責任が問われることがあります。救急医療の場面では、「専門外の傷病」、「緊急検査の困難性」、「患者の意識障害」、「短時間での診断や処置」など、日常の診療とは前提となる条件が異なり、注意義務(医療水準)の判断も異なってきます。

また、医療過誤以外でも、医師法における応召義務や異状死の届出、個人情報保護法における患者情報(診療録等)の取扱い等も留意しておく必要があります。

「医師－患者関係とコミュニケーション」

医療は不確実な面があり、結果を知って振り返れば、反省すべき点も多々あります。医療過誤か否かは、「事前視的」に検討する必要があり、結果が悪かったから責任があるという結果責任論ではありませんが、結果を知っての「後知恵バイアス」で、評価されてしまうことは、避けられない面があります。

救急医療は、応急的な処置が原則であり、必ずしも、確定診断に至るわけではなく、また、診療が完結するわけではありません。後に、骨折や腱断裂が判明したり、より重篤な疾患が判明することもあるかもしれません。

そこで生じるであろう患者さんの不信の溝を埋めるが、医師の説明であり、また情報の共有であろうと思います。



平成 31 年度  
日本医師会生涯教育講座（外科）

日 時：令和元年 8 月 22 日（木）  
場 所：愛知県医師会館 8 階会議室

## 「胃がんの内視鏡検査」

名古屋大学大学院 医学系研究科  
病態内科学講座（消化器内科学分野）  
教 授 藤 城 光 弘 先生

### 抄録

2018 年がん統計予測によると、胃がんは、罹患数で第 2 位 (128,700 人)、死亡数で第 3 位 (45,900 人) を占めており、依然、本邦におけるがん対策において、最重要がん種の一つに位置付けられている。胃がん発症の 95% 以上にヘリコバクターピロリ菌 (HP) が関与していることから、胃がんに対する先制医療として、一部の自治体においては、HP 感染診断や除菌費用を助成しているところもあるが、これらの対策が実を結ぶには長い年月を要する。現状においては、胃がん患者を早期に発見し、可能な限り臓器温存を図りながら、低侵襲治療で胃がんを治すことが望まれる。

胃がんの発見には内視鏡検査が必要不可欠であり、早期発見には、無症状である段階でスクリーニング内視鏡検査へ一般住民を導くことが重要である。1990 年代後半まで、がん死因のトップを胃がんが占めていた本邦では、胃がん検診が対策型検診として行われてきた歴史がある。長らく胃がん検診といえば、40 歳以上を対象に、逐年の胃 X 線（バリウム）検査であったが、2016 年度以降、2 年毎の胃内視鏡検査も、50 歳以上を対象に、対策型検診として実施可能となった。しかしながら、全対象者が内視鏡検診を受けると仮定した場合、内視鏡医のマンパワー不足は自明であり、X 線検査から内視鏡検査への移行は思うように進んでいない。萎縮性胃炎の進行が胃がん発症リスクと強く相関すること、萎縮性胃炎の程度は血清ペプシノゲン（蛋白質分解酵素ペプシンの前駆体）値で推定可能であることか

ら、血清ペプシノゲン値と血清抗 HP 抗体値により、A 群（萎縮性胃炎なし、HP 感染なし）、B 群（萎縮性胃炎なし、HP 感染あり）、C 群（萎縮性胃炎あり、HP 感染あり）、D 群（萎縮性胃炎あり、HP 感染なし）に分類し、それぞれ、5 年、3 年、2 年、1 年毎に内視鏡検査を行うなど、危険度に応じた検診間隔を設定することで、内視鏡医のマンパワー不足を解消し、効率的な胃がん検診が可能となる。

胃がんの内視鏡診断の進歩は目覚ましいものの、内視鏡検査による微小病変を含めた早期胃がんの見逃し率は 2 割程度に上るとの報告がある。より見落としのない内視鏡検査の補助として、有望視できる技術が、人工知能（Artificial intelligence : AI）の内視鏡分野への応用である。現在、日本消化器内視鏡学会が中心となって、膨大な内視鏡画像データの集積が開始されており、AI 技術も日進月歩であることを考えると、極めて高精度の早期胃がん診断用の AI 開発がそう遠くない将来になされる可能性があり、大いに期待するところである。

胃がんの内視鏡治療に目を向けると、厚生労働省の公表する National Database (NDB) オープンデータから、2016 年度には、53,031 件（ポリペクトミー 476 件、内視鏡的粘膜切除術 (EMR) 3,217 件、内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) 49,338 件）の胃がんに対する内視鏡切除術が行われた。これは、胃がんに対する外科手術の 49,728 件を上回る数である。その中で、演者が開発にかかわってきた ESD は、早期胃がん治療の標準治療の一つとして中心的役割を果たすに至っている。今後の課題としては、患者の状況に応じたテーラーメード医療を提供できることであろう。

平成 31 年度  
日本医師会生涯教育講座（外科）

日 時：令和元年 8 月 22 日（木）  
場 所：愛知県医師会館 8 階会議室

平成 31 年度  
救急医療医師研修会

日 時：令和元年 9 月 12 日（木）  
場 所：愛知県医師会館 地下健康教育講堂

「上部消化管  
悪性疾患に対する低侵襲手術の最前線」

藤田医科大学病院総合消化器外科  
教 授 宇 山 一 朗 先生

抄録

本邦における食道がん・胃がんに対する低侵襲手術は、1990 年前半に胸腔鏡もしくは腹腔鏡手術に代表される内視鏡手術として導入された。

この術式は従来の開胸・開腹術の大きな術創ではなく、極力小さい術創で行い、術後の痛みを軽減させることが目的であった。しかし、従来の内視鏡手術には、動作制限という致命的な欠点があり、最近の National Clinical Database (NCD) を利用した臨床研究では、開胸術もしくは開腹術に比べて、術後合併症がやや高い傾向があることが判明した。勿論、経験豊富な熟練医が施行した場合は、そのような傾向が認められないが、Real world での臨床現場では上記した残念な現象が発生している。

そこで、現行内視鏡手術の欠点を補完する内視鏡手術支援ロボット（ダヴィンチ）が開発された。我々は 2009 年よりダヴィンチによる胃がん手術と食道がん手術を開始し、現在までに胃がんに対して 430 例、食道がんに対して 105 例を行ってきた。胃がん手術においては、術後臍液瘻、縫合不全、腹腔内膿瘍による腹腔内感染性合併症が、統計的に有意差をもって、従来の腹腔鏡手術と比べて、ロボット支援手術では減少していた。食道がん手術においても、術後の誤嚥性肺炎の最大の原因である反回神経麻痺がロボット手術の方が、従来の胸腔鏡手術と比較して、有意に減少していた。

本日の講演では、実際の手術動画および我々の合併症軽減に対する術式の工夫、さらに手術成績を供覧し、上部消化管悪性疾患に対する低侵襲術の最前線について述べたい。

「大腸 CT 検査  
苦痛の少ない新たな大腸検査法」  
～大腸癌、便潜血陽性患者の  
スクリーニング～  
～低用量下剤を用いた低侵襲検査～

医療法人山下病院  
理事長 服 部 昌 志 先生

「抄録」

大腸癌を早期発見するためには大腸画像診断が必須ですが、一般の方々の大腸検査に対する心理的ハードルは未だかなり高いものがあります。「大腸内視鏡検査は辛そう」「前処置の下剤は大変」といった声は多く聞かれる中、低侵襲で苦痛も少ないとされる大腸 CT 検査 (CTC : CT Colonography) が注目されています。大腸 CT は 1994 年に米国で報告され、本邦でも 1990 年代後半に登場した MSCT の普及とともに研究が開始、2011 年に大腸 CT 用自動炭酸ガス送気装置が薬事承認され、2012 年に CT 検査における大腸 CT撮影加算が新設、保険適応検査となりました。2016 年には前処置のタギング法に使用する大腸 CT 用経口造影剤が薬事収載となり、大腸 CT は大腸検査の一端を担いつつあります。当院では、2003 年 5 月より 16 列 MSCT を用いて開始、2012 年 1 月に 64 列、2017 年 1 月からは 80 列 MSCT を大腸 CT 専用機として導入し、これまでに約 3 万例の大腸 CT 検査を実施しています。本講演では、大腸 CT 検査の基礎から実運用までお話しさせていただきます。

## 令和元年度 愛知県救急医療推進大会

日 時：令和元年9月9日(月) 午後2時～  
場 所：愛知県医師会館 9階・8階・7階

令和元年度愛知県救急医療推進大会開催にあたり、皆様方には多数ご出席を賜り厚く御礼申し上げます。愛知県外科医会を代表して、一言ご挨拶を申し上げます。

本日表彰を受けられる皆様方は、長年の間それぞれの部署、それぞれの立場で救急医療や緊急業務に携わって来られた方々であります。その活動に心より敬意を表しますと共に、御礼を申し上げます。

救急の日は、昭和57年に救急医療及び救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的に9月9日と定められました。また9月1日は防災の日と定められています。この日は台風の襲来の多いとされる二百十日に近く、1923年(大正12年)9月1日に発生した関東大震災に因んでいます。「災害についての認識と心構えの準備を喚起する」日と受け取っています。全国的に各都道府県で防災訓練が行われる時期であります。

日本は古来自然災害に悩まされてきました。暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、津波、火山噴火などです。日本列島は太平洋の周りを取り巻く環太平洋火山帯に位置し、全世界の活火山の7%が日本にあります。また全世界で起こったマグニチュード6以上の地震の20.5%が日本で起きています。かつての例では信長、秀吉が生きていた時代にイエズス会士として来日していたポルトガル人宣教師ルイス・フロイスは、1586年(天正13年)日本の中部で発生した巨大地震天正大地震に遭遇しその被害の惨状を著書「日本史」に書き遺しています。また日本の国土は山がちであり、その河川には、「長さが短く、流れが速い」「降った雨が一気に流れ出る」「川が住宅地より高い所を流れる」といった特徴が

愛知県外科医会  
会長 佐藤 和郎

あります。このため河川の増水・氾濫による被害が発生しやすい状況です。これに加えて、近年の気候変動による異常気象のため太平洋の水温が上昇し台風が発生しやすくなっています。今年のお盆には台風10号が来襲し災厄をもたらしました。

私ども愛知県外科医会と致しましては救急医療・災害医療を最重要項目として研鑽を積重ね技術の向上に努めると共に、一般市民の方々への救急に対する知識や技術の向上に協力しています。

最後になりましたが、今後とも救急医療推進に対する皆様方のご協力をお願いし、挨拶と致します。

### 開催内容

#### ●表彰(9階大講堂)

救急医療功労者(個人) 外科系  
医療法人一色診療所 坂野 哲哉

#### ●講演会(9階大講堂)

I. 「救急・災害医療提供体制に係る最近の動向」

愛知県救急医療情報センター顧問  
愛知医科大学名誉教授 野口 宏

II. 「ガイドラインに基づいたアナフィラキシーへの対応」

あいち小児保健医療総合センター  
副センター長兼総合診療科部長 伊藤 浩明

#### ●救急蘇生法講習(8階会議室)

担当 日本救急蘇生普及協会指導員

#### ●応急救手当講習(7階研修室)

担当 日本救急蘇生普及協会指導員

#### ●愛知県救急医療情報センター見学 (7階情報センター)

## 令和元年度 救急医療施設見学会のご報告

### 令和元年度救急医療施設見学会のご報告

令和元年度も恒例の救急医療施設見学会を、7月27日(土)に訪問先を藤田医科大学病院救命救急センターおよびダヴィンチトレーニングセンターに予定しておりました。しかし、台風上陸の影響で中止にした前年度の悪夢の再現をみるかのように、前日7月26日時点の進路予報では、当日、台風6号が名古屋を直撃するのは確実な情勢となりましたので、参加予定者と藤田医科大学の皆様の安全のために、今年度も中止という苦渋の決断をせざるを得ませんでした。本会は例年、7月下旬から8月中旬に開催しておりましたが、2年連続で中止となりましたので、次年度以降は開催時期の変更も検討しております。

愛知県外科医会副会長 細野二郎

### 愛知県外科医会ホームページ

URL <https://aichi-gekaikai.jp/>

#### 【掲載内容】

- 1. 「外科医会について」欄には、外科医会会則、役員名簿、評議員名簿、事業計画、会報等を掲載しています。
- 2. 「お知らせ」欄には、幅広い分野の講師の先生方、演題等での講演会・研修会をご案内しています。
- 3. 「学術集会」欄には、令和元年度愛知臨床外科学会学術集会、以降の学術集会等のご案内を掲載します。
- 4. 「イベントカレンダー」欄には、今後開催予定の講演会、研修会等をご案内いたします。

より多くの外科系医師の先生方のご参加をお願いします！

### 編集後記

人工知能 (artificial intelligence : AI) の医療への応用が始まっています。先日、名古屋大学消化器内科教授藤城先生の「胃がんの内視鏡検査」と題する講演では、内視鏡検査による早期胃がん見逃し率は2割程度に上ると述べられていました。そこで胃内視鏡検診でAIの導入が有望視されているようです。また、大腸内視鏡検査ではポリープの良悪性鑑別診断にAIが実際に臨床応用され始めました。マンモグラフィー読影にもAI導入が検討されています。将来、ロボット手術にもAIが導入されると考えられています。外科手術の修得には糸結びから始まり、長い間手術の助手を務めノウハウを身に付ける必要がありました。手術の技術や内視鏡診断について人間よりAIの方が優れている時代が来ようとしています。囲碁や将棋ではプロ棋士はAIに勝てませんが、実際の棋戦ではAIの戦術を柔軟に取り入れて戦い始めています。

これからAIが医療の分野にどのように応用されるのか楽しみでもあり、また医師の役割がAIに奪われるのではないかと不安もあります。

愛知県外科医会 副会長 山内晶司

編集・広報委員 ..... 山内晶司、間瀬武則、大浜寿博、中島克昌、長谷川満

## 愛知県外科医会平成30～31年度役員

敬称略順不同

役職名	氏名	地区	〒	住所	電話
会長	佐藤 和郎	名古屋	454-0012	名古屋市中川区尾頭橋 2-19-11 (医)広徳会佐藤病院	052-332-2707
副会長	山内 晶司	尾張	486-0931	春日井市松新町1-3 ルネッサンスシティ勝川1番街4階 (医)裕心会 かちがわ山内クリニック	0568-35-6066
〃	伊佐治文朗	名古屋	468-0074	名古屋市天白区八幡山 1413 (医)いさじ医院	052-835-1323
〃	細野 二郎	三河	471-0835	豊田市曙町 2-21 (医)泉会 細野クリニック	0565-28-3665
理事	林 敬一郎	名古屋	464-0008	名古屋市千種区宮根台1-3-32 宮根はやしクリニック	052-776-8883
〃	加藤 真	〃	462-0802	名古屋市北区上飯田北町 2-70 (医)愛生会総合上飯田第一病院	052-991-3111
〃	井戸田 力	〃	451-0062	名古屋市西区名駅 2-6-5 (医)承継会井戸田整形外科	052-541-5456
〃	彦坂 博	〃	450-0002	名古屋市中村区名駅 4-4-10 クロスコートタワー 2階 彦坂クリニック	052-581-6660
〃	坂野 哲哉	〃	454-0945	名古屋市中川区下之一色町字波花 93 (医) 一色診療所	052-301-6161
〃	上山 昌史	〃	457-8510	名古屋市南区三条 1-1-10 (独法) 地域医療機能推進機構中京病院	052-691-7151
〃	安井 元司	〃	466-0053	名古屋市昭和区滝子町 27-19 (医)安正会安井病院	052-881-3004
〃	松原 俊樹	尾張	491-0000	一宮市木曾川町里小牧字東蒲原 15 松原クリニック	0586-84-1551
〃	長谷川 満	〃	496-0005	津島市神守町古道 34 はせ川外科	0567-24-3370
〃	松崎 安孝	〃	496-8537	津島市橘町 3 丁目 73 番地 津島市民病院	0567-28-5151
〃	間瀬 武則	〃	475-0977	半田市吉田町 5-58 間瀬医院	0569-27-5166
〃	犬飼 健経	〃	488-0061	尾張旭市北原山町六田池 2214-4 犬飼クリニック	0561-53-7070
〃	中島 克昌	三河	440-0091	豊橋市下五井町字捨田 45-1 中島脳神経外科	0532-54-6261
〃	安形 俊久	〃	441-1231	豊川市一宮町泉 140 (医)安形医院	0533-93-4811
〃	大浜 寿博	〃	444-0062	岡崎市松本町 1-91 (医)大浜医院	0564-21-0743
〃	岡本 勝司	〃	470-0374	豊田市伊保町下川原 97-2 (医)おかもとクリニック	0565-45-3020
〃	大西 哲夫	〃	473-0913	豊田市竹元町二つ池 16 大西医院	0565-52-0057
監事	早川 直和	名古屋	464-8512	名古屋市千種区千代田橋 1-1-1 国公共済連合会東海病院	052-711-6131
〃	渡邊 浩次	尾張	470-2333	知多郡武豊町高野前 80 内科外科渡辺医院	0569-72-1195
〃	牧原 良行	三河	470-0335	豊田市青木町 1-8-6 (医) 社団登仁会牧原胃腸科外科診療所	0565-45-8684
評議会議長	錦見 尚道	名古屋	453-8511	名古屋市中村区道下町 3-35 名古屋第一赤十字病院	052-481-5111
評議会副議長	竹内 正	尾張	478-0001	知多市八幡半田道 21 竹内医院	0562-34-1991
〃	大岩 靖典	三河	441-8142	豊橋市向草間町字北新切 101 (医)大岩クリニック	0532-45-1013
名誉会長	西本 幸正	名古屋	467-0856	名古屋市瑞穂区新開町 24-38 西本病院	052-871-0287
顧問	宮崎 秀樹 (元副会長)	尾張	492-8218	稲沢市西町 3-224	0587-21-0856
	浅野 多一 (元副会長)	名古屋	454-0831	名古屋市中川区三ツ屋町 1-9 浅野クリニック	052-353-2221
	吉岡 研二 (元副会長)	あま市	497-0014	七宝町鷹居 7-49 (医)研和会 吉岡クリニック	052-441-5211
	山田 洋 前会長	名古屋	462-0043	八代町 2-82 胃腸科外科山田クリニック	052-913-1306

(平成31年4月1日現在)